

# 石巻工生

## 復興への貢献を誇りに

### 門脇町から 避難経路の石段を補修

石巻工業高校（今野基校長）の生徒たちは1日、石巻市門脇町と日和山を結ぶ石階段の補修を行った。東日本震災でも実際に使われた避難経路で、発災以前から石段が崩れて上りにくい状況。生徒たちは地域の復興に役立つと、一生懸命に汗をかいていた。

補修を行ったのは土木システム科の3年生41人。日和山の鹿島御児神社参道のわき道は、舗装されていない坂道となっており、途中の石段は角が落ちて滑りやすく、上り下りが大変な段差もあった。生徒たちは古い石段の石をつるはしやスコップを使って撤去し、形の整った別の石を運び込んだ。段差のあった箇所は整地し、長方形の石を積んで上りやすくした。

力仕事を進んで買って出た野球部の高橋健太さん（17）は「野球の練習よりキツイが、地域に貢献できると思

えばいい汗をかいた」と満足げだった。

補修作業は、祐ホームクリニック石巻Ⅱ石巻市水明北Ⅱを中心に官民で構成する石巻医

療圏健康・生活復興協議会の生活サポート班が、門脇町の在宅被災世帯を訪問した際に避難経路の課題を聞き、石巻工に相談したこと

から実施となった。同協議会事務局の塩澤耕平さんは「高校生が、自分直した道を誇りに思い、同時に復興への希望を強くしてもらえれば」と期待していた。

この日は土木システム科以外の3年生約200人も参加し、門脇町から日和山にかけての清掃や側溝の泥かきなどに取り組んだ。



斜面で石を運び、ぼろぼろの避難経路を直していく生徒たち

### 県漁協へ義援金1億円

#### 東芝水産振興に思い込め

ほか、被災した浜では同社と関連企業の社員がボランティアで復旧

人が出席。佐々木社長は「震災から1年が過ぎ、これからの大事な復興に」

### K-1王者ら枯木被災地支援で撤

格闘技イベント「K-1」で活躍する選手たちが4月30日、東松島市立天曲小学校を訪れ、被災し立ち枯れした校内の樹木の撤去作業を行った。

震災後から、K-1



が継続し、